

大学院等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設 置 者

国 立 大 学 法 人 鹿児島大学

(2) 大 学 院 名

鹿児島大学 大学院保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）

(3) 大学本部の位置

鹿児島県鹿児島市郡元1丁目 21番24号

(4) 管理運営組織

職 名	認 可 時	変 更 状 況	備 考
職 名	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(ナガタ ユキヒロ) 永田 行博 (平成15年1月)	(ヨシダ ヒロキ) 吉田 浩己 (平成19年1月)	任期満了に伴う交代⑩
研究科長		(ハマダ ヒロフミ) 濱田 博文 (平成19年4月)	研究科長は認可時、選考中であつたが、平成17年4月に坂江清弘が就任し、今回、任期満了に伴う交代 ⑪

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	認可時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
保健学研究科 保健学専攻(博士後期課程) 博士(保健学)	3年	6人	18人	基礎となる学部名等 医学部保健学科

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(6) 6人	(6) 6人	(6) 6人	1.05倍	基礎となる学部等 医学部保健学科
志願者数	(10) 10	(3) 5	(4) 7		
受験者数	(8) 8	(3) 5	(4) 6		
合格者数	(8) 8	(3) 5	(4) 6		
B 入学者数	(8) 8	(3) 5	(4) 6		
入学定員超過率 B/A	() 1.33	() 0.83	() 1		

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次	[0] 8	[0] 5	[1] 6	
2年次	[]	[0] 8	[0] 5	
3年次		[]	[0] 8	
計	[0] 8	[0] 13	[1] 19	

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区 分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成18年度	0 人 []	0%	左記のうち, 平成17年度入学者 人
	(主な理由)		
平成19年度	0 人 []	0%	左記のうち, 平成17年度入学者 人 平成18年度入学者 人
	(主な理由)		

2 授業科目の概要

<保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）>

（1）授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
保健学研究科共通科目										履修方法 ①必修科目として指導教員の指定する分野の専門科目から8単位（特論2，特別演習2，特別研究4）修得。 ②選択科目として、他の教員の開講科目から4単位以上修得。 修了要件 本課程に3年以上在学し12単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
成人健康科学特論	1・2		2		4					
医療管理学特論	1・2		2		1	≠				・専攻分野の充実を図るため担当者を追加したため。⑮ 担当 武井修治（教授） 平成17年10月審査済 判定 可 ・宇都由美子専任准教授が平成18年11月1日で医歯学総合研究科へ配置換えとなったため⑮
（保健看護学分野）	未開講				1					
精神保健看護学特論	1・2		2		1	1				・履修希望者がいなかったため。⑮ ・島田紀庸子専任教授が平成19年3月31日で辞職したため。⑮
精神保健看護学特別演習	未開講 1・2		2		★	1				
地域健康看護学特論	1・2		2		2 ≠	★				・緒方重光専任助教授が平成16年12月1日付けで教授に昇任したため。⑮ ・東サトエ専任教授が平成19年3月31日で辞職したため。⑮ ・坂田由美子教授が平成19年3月31日で辞職したため。⑮ ・宇都由美子専任准教授が平成18年11月1日で医歯学総合研究科へ配置換えとなったため⑮
地域健康看護学特別演習	1・2		2		★	★				
										・東サトエ専任教授が平成19年3月31日で辞職したため。⑮ ・坂田由美子教授が平成19年3月31日で辞職したため。⑮

保健看護学特別研究	1～2	4	★	★				・宇都由美子専任准教授が平成18年11月1日で医歯学総合研究科へ配置換となったため⑱
(神経運動障害基礎学分野)								・島田紀廣子専任教授が平成19年3月31日で辞職したため。⑱
運動障害基礎学特論	1・2	2	≠	1				・東サトエ専任教授が平成19年3月31日で辞職したため。⑱
運動障害基礎学特別演習	未開講 1～2	2	★	★				・坂田由美子教授が平成19年3月31日で辞職したため。⑱
運動障害学特論	1・2	2	2					・宇都由美子専任准教授が平成18年11月1日で医歯学総合研究科へ配置換となったため⑱
運動障害学特別演習	1・2	2	★					・専攻分野の充実を図るため担当者を追加したため。⑱
神経障害基礎学特論	1・2	2	1					担当 米 和徳(教授)
神経障害基礎学特別演習	1	2	★					平成19年1月審査済
神経運動障害基礎学特別研究	1～2	4	★	★				判定 可
(臨床精神神経障害学分野)								・履修希望者がいなかったため。⑱
認知リハビリテーション学特論	1・2	2	2	1				・専攻分野の充実を図るため担当者を追加したため。⑱
認知リハビリテーション学特別演習	1・2	2	★	★				担当 米 和徳(教授)
精神障害リハビリテーション学特論	1・2	2	3					平成19年1月審査済
精神障害リハビリテーション学特別演習	1・2	2	★					判定 可
臨床精神神経障害学特別研究	1～2	4	★					・専攻分野の充実を図るため担当者を追加したため。⑱
								担当 米 和徳(教授)
								平成19年1月審査済
								判定 D 合

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
0科目	19科目	0科目	19科目	0科目	19科目	0科目	19科目	..
				[]	[]	[]	[]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	精神保健看護学特論	2	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
2	精神保健看護学特別演習	2	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
3	運動障害基礎学特別演習	2	1・2	選択	履修希望者がいなかったため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし				

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

保健学研究科（博士後期課程）設置後、未公開科目3科目・廃止科目0科目である。未公開科目は受講者がいないためである。いつでも公開できる状態にあり、学生への影響はほとんどないと思われる。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{3}{19} = 0.15$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	全学				
	36,566,687㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	36,566,687㎡ (0㎡)					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	全学				
	312,596㎡ (312,596㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	312,596㎡ (312,596㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	11室	19室	19室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	保健学研究科保健学専攻（博士後期課程）			53 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
		保健学研究科 保健学専攻 博士後期課程	178,696 (77,026)	5,584 (2,335)	[]	89	2,225	214	
		(178,696 (77,026))	(5,584 (2,335))	([])	89	2225	214		
	計	178,696 (77,026)	5,584 (2,335)	[]	89	2,225	214		
		(178,696 (77,026))	(5,584 (2,335))	([])	89	2225	214		
	(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		全学	
15,527㎡		1,177席		1,174,680冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				全学		
	6,876㎡		陸上競技場・球技場・野球場・テニスコート・武道館・体育館・室内 プ ー ル ・ 艇 庫 ・ 弓 道 場 ・ グ ラ ン ド						
(8) 経費の見積り 及び 維持方法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	運営交付金による。
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	鹿 児 島 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人			年			
法文学部						1.08	S. 40	鹿児島市郡元1丁目21-30	※法文学部編入学定員は学部全体の定員で各学科収容定員の外数	
法政策学科	4	95		440	学士(法学)	1.09	H. 9			
経済情報学科	4	145		580	学士(経済学)	1.08	H. 9			
人文学科	4	155		620	学士(文学)	1.08	S. 54			
			3年次 10	20						
教育学部						1.09	S. 24	鹿児島市郡元1丁目20-6		
学校教育教員養成課程	4	225		900		1.03	H. 9			
特別支援教育教員養成課程	4	15		60	学士(教育学)	1.08	S. 49			
生涯教育総合課程	4	35		140		1.18	H. 9			
理学部						1.07	S. 40	鹿児島市郡元1丁目21-35		
数理情報科学科	4	40		160		1.04	H. 9			
物理科学科	4	45		180		1.09	H. 9			
生命化学科	4	50		200	学士(理学)	1.08	H. 9			
地球環境科学科	4	50		200		1.07	H. 9			
医学部			2年次			1.00	S. 30	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1	※医学部編入学定員は各学科収容定員の内数	
医学科	6	85	10	560	学士(医学)	1.02	S. 30			
保健学科			3年次			1.00	H. 11			
看護学専攻	4	80	10	340	学士(看護学)	1.00				
			3年次							
理学療法学専攻	4	20	5	90	学士(保健学)	1.00				
作業療法学専攻	4	20	5	90		1.01				
歯学部						1.00	S. 52	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1		
歯学科	6	55		345	学士(歯学)	1.00	S. 52			
工学部						1.10	S. 30	鹿児島市郡元1丁目21-40	※工学部編入学定員は学部全体の定員で外数	
機械工学科	4	94		376		1.06	S. 30			
電気電子工学科	4	78		312		1.11	H. 4			
建築学科	4	55		220		1.09	S. 30			
応用化学工学科	4	60		240	学士(工学)	1.13	H. 3			
海洋土木工学科	4	48		192		1.10	H. 4			
情報工学科	4	60		240		1.09	H. 元			

生体工学科	4	60	240	1.13	H. 9	
		3 年次				
		10	20			
農学部				1.07	S. 24	鹿児島市郡元1丁目21-24
生物生産学科	4	80	320	1.08	H. 2	
生物資源化学科	4	60	240	1.08	H. 2	学士(農学)
生物環境学科	4	65	260	1.05	H. 2	
獣医学科	6	30	180	1.09	S. 24	学士(獣医学)
水産学部				1.14	S. 24	鹿児島市下荒田4丁目50-20
水産学科	4	130	520	1.03	S. 50	
水産教員養成課程	4	10	40	1.25	S. 29	学士(水産学)
修士(博士前期)課程						
人文社会科学研究科				1.24	H. 10	鹿児島市郡元1丁目21-30
法学専攻	2	5	10	1.10	H. 10	修士(法学)
経済社会システム専攻	2	10	20	1.15	H. 10	修士(経済学)
						修士(社会学)
人間環境文化論専攻	2	5	10	1.90	H. 10	修士(文学)
国際総合文化論専攻	2	8	16	1.00	H. 10	修士(文学)
臨床心理学専攻	2		12	1.08	H. 14	修士(臨床心理学)
教育学研究科				1.48	H. 6	鹿児島市郡元1丁目20-6
学校教育専攻	2	6	12	2.16	H. 6	
教科教育専攻	2	32	64	0.81	H. 6	修士(教育学)
医歯学総合研究科				0.87	H. 16	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
医科学専攻	2	20	40	0.87	H. 16	修士(医科学)
保健学研究科				0.97	H. 15	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
保健学専攻	2	22	44	0.97	H. 15	修士(看護学)
						修士(保健学)
理工学研究科				1.31	H. 10	鹿児島市郡元1丁目21-40
機械工学専攻	2	27	54	1.44	S. 43	
電気電子工学専攻	2	24	48	1.62	H. 6	
建築学専攻	2	18	36	1.16	S. 43	

※平成19年4月1日臨床心理学研究科設置に伴い、臨床心理学専攻は平成19年度から学生募集停止

応用化学工学専攻	2	18	36		1.33	H. 6	
海洋土木工学専攻	2	15	30	修士(理学)	1.23	H. 6	
情報工学専攻	2	18	36	修士(工学)	1.44	H. 5	
生体工学専攻	2	15	30	修士(学術)	1.13	H. 13	
ナノ構造先端材料工学専攻	2	28	56		1.24	H. 14	
数理情報科学専攻	2	12	24		1.12	H. 10	
物理科学専攻	2	11	22		1.81	H. 10	
生命化学専攻	2	15	30		1.13	H. 10	
地球環境科学専攻	2	15	30		1.09	H. 10	
農学研究科					0.97	S. 41	鹿児島市郡元1丁目21-24
生物生産学専攻	2	26	52		1.05	H. 6	
生物資源化学専攻	2	21	41	修士(農学)	1.02	H. 6	
生物環境学専攻	2	22	44		0.85	H. 6	
水産学研究科					0.87	S. 44	鹿児島市下荒田4丁目50-20
水産学専攻	2	32	64	修士(水産学)	0.87	S. 54	
博士(博士後期)課程							
人文社会科学研究科					1.38	H. 10	鹿児島市郡元1丁目21-30
地域政策科学専攻	3	6	18	博士(学術)	1.38	H. 15	
保健学研究科					1.05	H. 17	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
保健学専攻	3	6	18	博士(保健学)	1.05	H. 17	
医歯学総合研究科					0.75	H. 15	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
健康科学専攻	4	36	108	博士(医学)	0.73	H. 15	※平成15年4月1日医歯学総合研究科(博士課程)設置に伴い、医学研究科及び歯学研究科は、募集を停止。
先進治療科学専攻	4	58	174	博士(歯学)	0.77	H. 15	
				博士(学術)			
医学研究科					S. 34		鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
生理系専攻	4		12		S. 34		
病理系専攻	4		8		S. 34		
社会医学系専攻	4		6	博士(医学)	S. 34		
内科系専攻	4		14		S. 34		
外科系専攻	4		18		S. 34		

歯学研究科					S. 59	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
歯学専攻	4		18	博士(歯学)	S. 59	
理工学研究科					0.91 H. 10	鹿児島市郡元1丁目21-40
物質生産工学専攻	3	7	21	博士(理学)	0.80 H. 6	
システム情報工学専攻	3	7	21	博士(工学)	1.33 H. 6	
生命物質システム専攻	3	8	24	博士(学術)	0.91 H. 10	
ナノ構造先端材料工学専攻	3	12	36		0.63 H. 14	
連合農学研究科					1.58 S. 63	鹿児島市郡元1丁目21-24
生物生産科学専攻	3	8	24	博士(農学)	1.62 S. 63	
生物資源利用科学専攻	3	7	19	博士(水産学)	1.61 S. 63	
生物環境保全科学専攻	3	4	12	博士(学術)	1.87 S. 63	
水産資源科学専攻	3	4	12		1.25 S. 63	
専門職学位課程						
司法政策研究科					1.00 H. 16	鹿児島市郡元1丁目21-30
法曹実務専攻	3	30	90	法務博士(専門職)	1.00 H. 16	
臨床心理学研究科					1.00 H. 19	鹿児島市郡元1丁目21-30
臨床心理学専攻	2	15	15	臨床心理修士(専門職)	1.00	

5 教員組織の状況

<保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）>

（1）担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	石澤 隆 (61歳)	平成17年4月	成人健康科学特論						
専	教授	吉田 愛知 (57歳)	平成17年4月	成人健康科学特論						
専	教授	藤野 敏則 (54歳)	平成17年4月	成人健康科学特論						
専	教授	木佐貫 彰 (50歳)	平成17年4月	成人健康科学特論						
					専	教授	武井 修治 (54歳)	平成18年4月	成人健康科学特論 医療管理科学特論	専攻分野の充実を図るため担当者を追加したため。⑬ (平成17年10月審査済)
専	教授	堤 由美子 (50歳)	平成17年4月	精神保健看護学特論 精神保健看護学特別演習 保健看護学特別研究						
専	教授	嶋田 紀彦子 (61歳)	平成17年4月	精神保健看護学特論 精神保健看護学特別演習 保健看護学特別研究	専	教授	吉留 厚子 (51歳)	平成19年10月	精神保健看護学特論 精神保健看護学特別演習 保健看護学特別研究	嶋田紀彦子教授が平成19年3月31日付けで退職したため⑭ (平成19年7月変更書提出予定) ⑮
専	教授	東 サトエ (53歳)	平成17年4月	地域健康看護学特論 地域健康看護学特別演習 保健看護学特別研究			後任未定			東サトエ専任教授が平成19年3月31日付けで退職したため⑭ 「後任未定」平成19年度中に専任教員採用予定で公募中。 「地域健康看護学特論」「地域健康看護学特別演習」「保健看護学特別研究」は、他に担当教員が2名いるため支障はない。
専	教授	坂田 由美子 (52歳)	平成17年4月	地域健康看護学特論 地域健康看護学特別演習 保健看護学特別研究	専	教授	小林 奈美 (37歳)	平成19年10月	地域健康看護学特論 地域健康看護学特別演習 保健看護学特別研究	坂田由美子教授が平成19年3月31日付けで退職したため⑭ (平成19年7月変更書提出予定) ⑮
専	教授	波多野 浩道 (53歳)	平成17年4月	地域健康看護学特論 地域健康看護学特別演習 保健看護学特別研究						
専	教授	坂江 清弘 (62歳)	平成17年4月	運動障害基礎学特論 運動障害基礎学特別演習 神経運動障害基礎学特別研究						
専	教授	前田 哲男 (53歳)	平成17年4月	運動障害学特論 運動障害学特別演習 神経運動障害基礎学特別研究						
専	教授	吉元 洋一 (54歳)	平成17年4月	運動障害学特論 運動障害学特別演習 神経運動障害基礎学特別研究						
					専	教授	米 和徳 (52歳)	平成19年4月	運動障害学特論 運動障害学特別演習 神経運動障害基礎学特別研究	専攻分野の充実を図るため担当者を追加したため。⑬ (平成19年1月審査済)
専	教授	吉田 義弘 (57歳)	平成17年4月	神経障害基礎学特論 神経障害基礎学特別演習 神経運動障害基礎学特別研究						
専	教授	浜田 博文 (59歳)	平成17年4月	認知リハ・リハビリテーション学特論 認知リハ・リハビリテーション学特別演習 臨床精神神経障害学特別研究						
専	教授	岩瀬 義昭 (52歳)	平成17年4月	認知リハ・リハビリテーション学特論 認知リハ・リハビリテーション学特別演習 臨床精神神経障害学特別研究						
専	教授	榎本 貞保 (56歳)	平成17年4月	精神障害リハ・リハビリテーション学特論 精神障害リハ・リハビリテーション学特別演習 臨床精神神経障害学特別研究						
専	教授	渡瀬 誠 (46歳)	平成17年4月	精神障害リハ・リハビリテーション学特論 精神障害リハ・リハビリテーション学特別演習 臨床精神神経障害学特別研究						
専	教授	深野 佳和 (54歳)	平成17年4月	精神障害リハ・リハビリテーション学特論 精神障害リハ・リハビリテーション学特別演習 臨床精神神経障害学特別研究						
専	准教授	丹羽 さよ子 (48歳)	平成17年4月	精神保健看護学特論 精神保健看護学特別演習						
専	准教授	下敷領 須美子 (53歳)	平成17年4月	精神保健看護学特別演習						

専	准教授	緒方 重光 (51歳)	平成17年4月	地域健康看護学特論 地域健康看護学特別演習 保健看護学特別研究	専	教授	緒方 重光 (51歳)	平成17年4月	地域健康看護学特論 地域健康看護学特別演習 保健看護学特別研究	緒方重光専任助教が平成16年12月1日付で教授に昇任したため。⑦
専	准教授	宇都 由美子 (48歳)	平成17年4月	医療管理学特論 地域健康看護学特論 地域健康看護学特別演習 保健看護学特別研究			後任未定			宇都由美子専任准教授が平成18年11月1日付で医学部総合研究科へ配置換えとなったため。⑧ 「後任未定」平成19年度中に専任教員採用予定で公募中。 「医療管理学特論」1名、「地域健康看護学特論」「地域健康看護学特別演習」「保健看護学特別研究」2名他に担当教員がいるため支援はない。
専	准教授	大重 匡 (44歳)	平成17年4月	運動障害基礎学特論 運動障害基礎学特別演習 神経運動障害基礎学特別研究						
専	講師	窪田 正大 (38歳)	平成17年4月	認知リハビリテーション学特論 認知リハビリテーション学特別演習						
兼担	教授	熊本 一朗 (51歳)	平成17年4月	医療管理学特論						
兼担	講師	渡邊 ミチ子 (63歳)	平成17年4月	精神保健看護学特論						
					兼担	准教授	宇都 由美子 (50歳)	平成18年4月	医療管理学特論	専攻分野の充実を図るため担当者を追加したため。⑨

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
13	4	17	21	15	2	17	21	
13	4	17	21	(+2)	(▲2)	1	0	

(3) 専任教員交代の理由

番 号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	嶋田 紀廣子	平成19年3月31日付勤怠退職。後任に平成19年4月1日付吉留厚子教授就任。（平成19年8月審査予定）
2	教授	東 サトエ	平成19年3月31日付自己都合のため辞職。後任未定。（平成19年度採用予定）
3	教授	坂田 由美子	平成19年3月31日付自己都合のため辞職。後任に平成19年4月1日付小林奈美教授就任。（平成19年8月審査予定）
4	准教授	宇都 由美子	平成18年11月1日付医学部総合研究科へ配置換え。後任未定。（平成19年度採用予定）

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学年進行中に交代した専任教員は4名であるが、公募等で広く人材を求め、速やかに後任補充を行っているため学生への影響はほとんどないと思われる。また、学生には、ホームページ・シラバスで周知を図っている。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (17年4月1日)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (17年5月1日)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (18年5月1日)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (19年4月1日)	○鹿児島大学水産学部水産教員養成課程の入学定員超過の是正に努めること。	・過去の定員超過の状況を踏まえ、学部運営会議、教育委員会、教授会等で合格予定者数等の決定をするにあたり過去の最低辞退者数を加味する方法をとり、定員超過の可能性が最少になるよう若干の修正をした結果、平成19年度においては入学定員と同数の入学者数となった。 次年度以降についても本年度に採用した方法により合格予定者数を決定することとし、適正な入学定員の管理に努める。 ⑱ ●添付資料 1 ・12月臨時教授会等議事要旨 (H18. 12. 13) ・2月定例教授会等議事要旨 (H19. 2. 21) ・平成19年度一般選抜（前期・後期）合格者概数について ・3月臨時教授会等議事要旨 (H19. 3. 5) ・平成19年度水産学部（前期日程）入学者選抜管理委員会資料 ・3月定例教授会等議事要旨 (H19. 3. 19) ・平成19年度水産学部（後期日程）入学者選抜管理委員会資料 ・水産教員養成課程 年度別志願者・合格者・入学者数等一覧表	該当なし

7 その他全般的事項

<保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）>

（１）設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど ¹
特になし	特になし

（２）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（別紙のとおり）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 自己点検・評価を実施する予定の平成19年度以降に公表することを検討中である。また平成18年度は構成員評価に基づく、教員個人ごとの自己点検・評価を実施した。

b 公表方法

- ・ 印刷物等で公開し、社会から広く意見を求める方向で検討中である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成19年度に大学評価・学位授与機構の評価を受けるべく学内で予定しており、大学院保健学研究科も同時に行う予定で自己評価書を作成中である。

(2) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

鹿児島大学は、自己点検・評価について自ら行う教育、研究、組織、運営等の状況の点検・評価を適切かつ円滑に実施し、その結果を本学の教育研究活動等の改善に資するとともに社会に対する説明責任を果たすことを目的としている。評価の基本項目は、本学が行う教育、研究、社会貢献、国際交流、診療、管理運営の諸活動となっている。

そして、国立大学法人評価及び認証評価に応じて、平成18年度以降自己点検・評価を行うことになっており、大学院保健学研究科は平成18年度に認証評価受審に向けての部局自己評価書の作成、構成員評価に基づく、教員個人ごとの自己点検・評価を実施し、平成19年度の国立大学法人評価（暫定評価）に向けて、さらに点検項目の精査を行う予定である。

(3) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ ☒ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成19年10月1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ 承諾しない)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ ☒ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成19年10月1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ 承諾しない)